

平成30年12月28日

酒田市長 丸山 至 殿

酒田市環境審議会

会長 北川 幸宏



答 申 書

平成30年11月27日付酒環発第187号にて諮問のあった、JRE酒田風力発電所更新計画 計画段階環境配慮書に関する参考意見について、下記のとおり答申します。

記

- 1 事業実施想定区域において北港水路と、その北側の海岸では周辺の状況が大きく異なることから、それぞれ調査、予測及び評価を進めること。
- 2 国内において稼働実績がない最大級の施設の設置が計画されていることから、地域住民が懸念や不安を抱かないように、特に以下の事項について慎重に検討し、周知・説明すること。
 - ・施設の規模
 - ・設置基数
 - ・設置位置
 - ・安全性の確保
 - ・騒音
 - ・周辺の動植物等への影響
- 3 北港水路には多くの釣り人がいることから、人と自然との触れ合いの活動の場に北港水路を追加すること。

以上

環境審議会における主な意見

- 北港水路と、その北側の海岸部分では周辺の様子が大きく異なるため、二区分に明確に分けて、それぞれ調査や予測、評価を整理していただきたい。
- 施設の規模、設置基数、設置位置等について、地域住民の懸念や不安を解消するよう慎重に検討し、不足なく説明いただきたい。
- ブレードの落下事故の発生などにより、周辺の保安林に影響を与えないよう検討願いたい。
- 現状よりも施設規模が大型化されることから、騒音について十分な調査、予測及び評価を行っていただきたい。
- 2004年から稼働している既存の施設について、周辺の動植物にどのような影響があったのか調査していただきたい。
- 鳥類や植物の有識者だけでなく、ほかの環境要素についても専門家の意見を聞きながら調査、予測及び評価を進めていただきたい。
- 人と自然との触れ合いの活動の場について、配慮書では宮海海水浴場と万里の松原が選定されているが、冬場にハタハタ釣りで賑わう北港水路を項目として追加されたい。
- 市において、既存の施設の周辺地で住民に聞き取り調査を実施し、施設の存在をどのように感じているのか実態を把握していただきたい。
- 山形県環境影響評価審査会の委員の方々から、現地を確認していただきたい。また、酒田市環境審議会、酒田市景観審議会ともに委員の方々への、現地視察の機会を設けていただきたい。
- 主要な眺望点からの眺望景観への影響について予測結果が示されているが、関係する集落（宮海地区）からの眺望を眺望点として含められたい。
- 現状よりも施設規模が大型化されることから、経済的な利益を地域に分配するよう検討いただきたい。
- 事業実施想定区域は酒田市だが、施設による影響は遊佐町に及ぶことが想定されるため、酒田市のほか遊佐町への配慮をお願いしたい。